

平成25年度 三条市社会科部 活動報告

部長 岩崎 一成

1 研究主題

子どもが社会事象への興味関心を高め、意欲的に追求する社会科授業の充実

2 研究の概要

(1) 教材研究

○包丁製造会社の見学（包丁製品・製造工程の見学）

○講演会

「会社の概要及び包丁製造について」「『工場の祭典』にかける願い」

講師 株式会社タダフサ代表取締役社長 曾根 忠幸 様

(2) 講演会

○「小中一貫教育における社会科指導のポイント」

講師 三条市教育委員会小中一貫教育推進課指導主事 渡邊 芳久 様

3 研究の実際

(1) 包丁製造会社の見学・講演会

授業に役立つように、市の社会科副読本で取り上げている包丁製造会社を見学した。「金物のまち三条」の包丁づくりの歴史や会社の歴史、様々な包丁の種類、製品等に関すること、また、出荷までの21に及ぶ製造工程について職人の動きと共に学ぶことができた。

講演会ではものづくりにかける企業人や職人の思い、ものづくりのまちに生きる子どもたちへの思いや企業のあり方などの話を聞くことができた。



(2) 講演会「小中一貫教育における社会科指導のポイント」

三条市における小中学生の社会科学力の実態を元に、モデルカリキュラム作成の改善の視点にそってご指導を頂いた。改善の視点は①小中9年間を見通して円滑な接続ができるよう作成する ②目指す児童生徒像から重点をかけ共通して指導する内容等を明らかにする ③他の教科・領域と、関連させて指導する内容等を明らかにする ④地域の教育的資源を活用して指導する内容等を明らかにすることの4点である。「小中の学習内容の関連付け」や「興味関心と理解を深める授業実践」等、具体的な例を挙げながら説明していただき、授業を充実させるためのヒントを得ることができた。

4 成果と課題

○身近な地域教材への理解と小中9年間を見通した効果的な社会科指導のあり方についての理解を深め、授業づくりに生かすことができた。

○授業研究に向けた授業者の確保（授業研究会等の活用、ブロック分け、乗り入れ授業等）及び授業の充実に向けた多様な活動（授業づくり、教材化演習、レポート研修）について検討する。